

児童・生徒、保護者、地域の皆様へ

— 臨時休校に関する教育長メッセージ —

新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、京都府が特に重点的な対策を必要とする特定警戒都道府県に指定される中、子どもたちの命と健康を守り、学校を感染場所にしないために、亀岡市立幼稚園、小・中・義務教育学校を5月31日まで臨時休校としてきました。

この間、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆さん、放課後児童クラブ支援員の皆様には、子どもたちの心身の健康の様子を丁寧に見守っていただいていることに心から感謝申し上げます。この感染症が一日も早く収束を迎え、学び舎に子どもたちの笑顔があふれ、元気な声が響き渡る日が訪れますよう、様々な工夫を重ねてこの困難を乗り越えていきたいと思っております。

児童・生徒のみなさんへ

友だちや先生たちと勉強したり遊んだりすることができる日を、心待ちにしている人もいるでしょう。また、部活動のことや進路選択について不安を感じている人もいるかもしれません。学校が始まった時に、みなさんが安心して学校生活を送ることができるように、今、学校では、感染を予防するための工夫や学習の遅れを取り戻すための計画、行事の見直しなどの準備をすすめています。みなさんは、家庭において、学校からの注意事項を守り、1日のスケジュールを決めて規則正しい生活を送りながら学習課題にしっかり取り組みましょう。

みなさんの周りには、命を救おうと必死でがんばっている医療現場の方々や生活を支えるため働いてくださっている方がいます。私たちも自分の健康を守るため、そして大切な人を守るために、正しい手洗いやうがい、マスクの着用や咳エチケットなど、感染を防ぐために一人ひとりができること、しなければならないことを積極的に行うようにこころがけましょう。

詩集

「たいまつ」 より

きのうは 去^きった あすは まだ来^こない

きょうという この日^ひに 全^{ぜん}力^{りょく}を 注^そぎこもう

どんなに つまらなく思^{おも}われる 1日^{いち}であろうと

どんなに 辛^{つら}い 1日^{いち}であろうと

きょうが なければ あすはない

平^{びやうどう}等^{あた}に与^あえられている貴^き重^{ちゆう}な時^じ間^{かん}を 決^{けつ}して無^む駄^だにしないでください。

みなさんの元^{げん}気^きな声^{こゑ}と笑^{えが}顔^{がお}に出^で会^あえる日^ひを 楽^{たの}しみにしています。

保護者、地域の皆様へ

市内においても感染者が発生するなど、収束に向けて予断を許さない状況の中、臨時休校が長期間に及んでいることで大変なご苦勞をおかけしています。

子どもたちの日常生活が大きく制限され、心身のケアも必要になってきている中、子どもたちに社会や家族の一員としての自覚を持たせ、自らの課題に取り組んでいる姿に、あたたかい励ましの声をかけていただけたらと思います。

教育委員会では、学校と連携し、学校再開に向けて（5月1日の文部科学省からの通知文のとおり）徹底して予防対策を講じた上で、地域や学校の状況を踏まえて段階的に教育活動を再開する「分散登校」や「短縮授業」等を視野に入れて検討しているところです。

困難な事態をみんなで乗り越え、感染症に対する差別や偏見のない健康で安全な生活を一日も早く取り戻すことができますように、また、子どもたちの健やかな学びを保障する教育活動が再開できますように、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年5月13日

亀岡市教育委員会
教育長 神先 宏彰